

かながわの 交通

2017 12月号

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)
一般部門 A: 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

気のゆるみ 一杯だけが 命とり



山茶花と黄葉

(横浜市港北区)



二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール(SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング(GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。
問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで

二輪車事故
多発!!



◎県内の交通事故発生概況(平成29年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数				
					総数	男	女	
平成29年		25,871	132	30,521	県人口	9,164,373	4,571,923	4,592,450
平成28年		24,508	116	29,225	免許人口	5,622,803	3,226,785	2,396,018
増減数		+1,363	+16	+1,296	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		+5.6	+13.8	+4.4				

(県人口は平成29年11月1日、免許人口は平成29年10月末現在)

年末の交通事故防止運動

■ 実施期間

平成29年12月11日(月)～12月20日(水)の10日間

● 目的

年末は交通量や飲酒の機会が増えることにより、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
- 3 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



2017 飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会

12月中の「飲酒運転根絶強化月間」を控えて、11月27日(月)午後、横浜市戸塚区のJR戸塚駅東口ペDESTリアンデッキにおいて、県交通安全対策協議会主催による「2017 飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会」が開催されました。

大会では、県くらし安全交通課押部課長の挨拶に続いて、県交通安全母の会連合会五反田会長による「飲酒運転根絶宣言」を行いました。

この後、イベント会場において乗降客など同駅利用者に当協会が提供した啓発グッズ(飲酒根絶ラップ)などを配布しながら飲酒運転の根絶、飲酒事故防止を呼びかけました。



年末年始の業務案内

● 運転免許手続きのご案内【運転免許試験場、警察署】 年末年始は大変混雑します。手続きはお早めに！

受付は、運転免許試験場・警察署とも

年内は **12月28日(木)** まで行います。

新年は **1月4日(木)** から行います。

ご来場の際は、
電車やバスなど
の交通機関をご
利用ください



平成 29 年 12 月				平成 30 年 1 月			
28	29	30	31	1	2	3	4
木	金	土	日	月	火	水	木
通常業務 最終日	← 業務休止 →					通常業務 開始日	

⑧ 平成 29 年 12 月 29 日 (金) から平成 30 年 1 月 3 日 (水) までの間に
運転免許証の有効期間 (誕生日の 1 か月後) が満了する方は…

平成 30 年 1 月 4 日 (木) まで有効 です。

《問い合わせ》 ● 神奈川県警察ホームページ <http://www.police.pref.kanagawa.jp/>

● 運転免許試験場 ☎ 045(365)3111

※ 間違い電話にご注意下さい。

● 試験場コース開放等のご案内【県交通安全協会】

平成 29 年 12 月						平成 30 年 1 月								
23	24	25~28		29	30	31	1	2	3	4~5		6	7	8
土	日	月~木		金	土	日	月	火	水	木~金		土	日	月
コース 開放	受付 業務	休 日 (受付・コース開放休止)					受付 業務	コース 開放	受付 業務	コース 開放				

練習を希望する前日までに電話又は直接窓口で予約してください。

- 受付開始日 2週間前
- 受付時間 午前9時から午後4時 (年末年始の休日を除く)
- 電話番号 **045-362-3468**
- 受付窓口 神奈川県運転免許試験場1号館
1階技能試験待合所内

※ 神奈川県交通安全協会ホームページでも確認することができます

||||||| 自転車安全教育指導者講習会 |||

11月10日(金)藤沢市の辻堂海浜交通公園において、神奈川県自転車安全教育推進委員会の主催により、自転車安全教育指導者講習会を開催しました。

当日は、地区交通安全協会交通指導員、市役所職員等41名(うち女性5名)が参加して、午前の講習では、県警交通安全教育隊隊員から自転車の交通ルール、チリリン・スクールの実施要領等について講習を受けた後、交通公園のコースを利用して、見通しの悪い交



差点での安全確認など基本走行に係る実技講習を行いました。

午後の講習では、片手運転による危険性等の指導要領を学びました。

講習の最後に、検討会、質疑応答が行われた後、当協会の長澤交通安全活動推進部長から受講者代表に修了証、認定証、チリカが交付されました。

二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月24日(金)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00~)及び自転車安全教育推進委員会(15:00~)が開催されました。

両委員会とも只野委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明がありました。

次いで委員会事務局から平成29年中の所管業務(二輪車安全運転大会、交通安全自転車大会等)の取り組み状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る各種講習等を実施することが決定されました。



平成30年度 大会等開催予定

- ① **第49回二輪車安全運転神奈川県大会**
平成30年5月26日(土) 神奈川県運転免許試験場
- ② **第49回こども自転車・第7回高齢者自転車神奈川県大会**
平成30年7月7日(土) 横浜文化体育館
- ③ **二輪車安全運転指導員資格認定審査**
平成30年10月13日(土) 神奈川県運転免許試験場
- ④ **自転車安全教育指導者研修会**
平成30年11月9日(金) 辻堂海浜交通公園

地域交通安全活動推進委員研修の開催

地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、

交通安全教育、広報・啓発、協力要請、相談、協力援助、実地調査等を広く行うことを任務としています。

県協会は、公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、同委員会から推進委員に対する研修事務を受託し、道路交通関係法令や道路交通の現状等について、毎年度ブロック別研修1回、同地区別研修2回を行っています。

ブロック別研修については、10月から全てのブロックで実施計画がありますが、地区別研修は未実施、未計画地区がありますので、事前に日程等調整のうえ、来年度末までに計画的な研修をしていただくようお願いします。



二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査の実施

神奈川県二輪車安全運転推進委員会では、神奈川県警察、神奈川県二輪車普及安全協会等の協力を得て、10月14日(土)運転免許試験場において二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査を実施しました。

この講習会・審査は、二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進することを目的に開催していますが、本年も地区交通安全協会交通指導員の方をはじめとして二輪販売店従事者、二輪愛好家など8名の方が受講しました。

当日は、開講式に続いて、午前中は県警察担当官による適性検査、学科講習、学科テスト、午後からは二輪車安全運転推進委員会特別指導員の指導で実技講習を行った後、実技テスト、最後に面接審査を行いました。

10月31日(火)に判定委員会を開催した結果、受講者全員の方が合格し、県二輪車安全運転推進委員会から認定証、指導員手帳、バッヂ、ワッペンを交付しました。



交通事故の悲劇に学ぶ 54

●「奪ってしまった幸せ」自営業(43歳)

ある年の12月、私は生涯忘れる事のない過ちを犯しました。年の瀬も迫る夕刻、私は翌日に予定していた釣りの道具を買う為、いつも走り慣れた道を全く緊張感が欠けた状態で車を走らせていました。交差点を前にして一旦右折して自宅へ帰ろうか、それとももう少し釣り道具を買い足す為に直進しようかと迷い、いったんは右折車線に入りました。

しかし、気が変わり直進車線に車線を変更した際、交差点内にもかかわらず、所持金がいくらあるか確認しようであろうと、手に持っていた財布に目を奪われてしまい、原付を運転していた男性にはほぼ正面衝突の状態に接触してしまいました。慌てて車から降りると、被害者の方の苦しそうな呻き声、その姿は生涯絶対に忘れる事はありません。

亡くなった被害者の方は、77歳の男性で、永年奥様と二人きりで仲睦まじく、幸せに暮らしていたと聞きました。この日もお正月に来る予定のご子息家族の為に蟹を買って、お孫さんの喜ぶ姿を楽しみにしていたと聞きました。私の不注意な脇見運転がその幸せな暮らしを一瞬で奪ってしまいました。ある時は、ともに汗を流し、楽しく農作業をしたり、ある時は、二人手を取り合って行楽に出掛けたりと、本当にご夫婦で仲良く暮らしていたと聞きました。被害者の奥様は事故のことを聞いて病院に向かっている時、自分の腕がもげてもいい、足がなくなってもいい、あの人の命だけは助けて下さいと祈り続けていたと聞きました。奥様にとって、被害者の方は本当にかげがえのない大切な人であり、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

全ての原因は私にあります。私の運転に対する意識の甘さ、そして普段の生活からの意識の甘さが原因です。思えば、それまでの私は何事に対しても考えが甘く、このくらいは大丈夫だろう、これくらいなら許されるだろうという甘い考えを持っていました。

そのため、交通違反で捕まった事も度々ありました。全ては、安全運転に対する意識の甘さ、物事に対しての甘い考えが引き起こしたものです。もしも、あの時に事故を起こしていても、いずれ必ずどこかで事故を起こしていたと思います。私の犯した交通事犯は、決して運悪くとかそういう類のものではなく、私の意識そして心の甘さが引き起こした必然の事犯であると思います。

被害者の方は亡くなる前に、ご家族の方々に伝えたかったこと、話しておきたかったことがたくさんあったと思います。その事を一言も発する事ができず、突然、理不尽な形でご家族を残し、逝かなければならないということは本当に想像を絶する無念な思いだったと思います。そして表現できない位の苦しみだったと思います。本当に申し訳ございません。



イラストは本文とは関係ありません

ご家族の方も、突然最愛の人を理不尽な形で失うという事は測りしれない悲しみであったと思います。もしも逆の立場であったなら、私は許すことができるのでしょうか。もしかしたら、死んで詫言いで欲しいとさえ思っているかもしれません。

私は1年6ヶ月の実刑判決を受け、ここ市原刑務所で受刑生活を務めております。ご遺族の方との示談交渉の方は、入所後すぐに成立しました。いずれ受刑生活を終え、社会復帰する事になると思いますが、私の犯した罪は決して消えるものではありません。むしろ、その時からが本当の意味での償い、そして贖いの日々の始まりなのではないかと思っております。

被害者の方や、ご遺族のお立場から見れば、出所後、のうのうと何不自由なく暮らしていく事は、決して許された事ではないのではないかと思っております。どうやって謝罪していくべきだろうと、今も自問自答の日々が続いております。

ただ、一つだけ確実に言い切れる事は、許してもらおうなどという見返りなどは決して求めず、ただひたすら正直に純粋に偽りのない気持ちで謝り続けていくという事です。その事だけは絶対に続けていくと断言します。

最後にこの本を読んでいる人に伝えておきたい事があります。それは、私が言うのもおかしい事ですが、平凡に暮らしている、平凡に暮らしていけているという事に本当に感謝すべきだという事です。平凡な暮らしというものが、どれほど有り難いことなのかという事を、私は平凡な暮らしを失って初めてその有り難さを痛感しました。

皆様、どうか平凡に暮らせているという事に感謝の気持ちを持って下さい。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第52集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)横浜メディアアド ————— 横浜市神奈川区栄町
- 日産自動車(株)テクニカルセンター ————— 厚木市岡津古久
- ダイードリンコ(株)首都圏第一営業部 ————— 横浜市港南区丸山台

この人

144



相模原北交通安全協会
会長
井草 照夫さん



「この人」欄、平成29年のトリを務めていただきますのは、今年5月26日に相模原北交通安全協会の二代目会長に就任されました井草照夫会長です。

皆様ご存知のとおり、相模原北交通安全協会は平成18年4月に相模原北警察署が新設されたのと同時に県下で54番目に設立された一番若い協会です。

会長は、津久井郡相模湖町(現 緑区寸沢嵐)に農家の四男として生まれ、四方を山々に囲まれ、夏には道志川で鮎やウナギ釣りをして楽しみ、冬には薪拾いと、自然豊かな環境で育ちましたがその故郷も今では津久井湖の湖底に沈んでしまっているそうです。現在の住所に移り住んで55年と半世紀以上が過ぎ、地元にもすっかり根付いて、地域でのお祭りなどの様々な行事にも尽力し信頼を得ています。

昭和40年10月に務めていた会社を退職し、もともと手先が器用だったので、その年の11月に電気機械部品を作る工場を開業して現在に至っております。

自営業で工場の仕事の傍ら、昭和59年4月に当時の相模原交通安全協会支部役員の勧めで代議員としてボランティア活動に参加するようになりました。

昭和61年6月から平成25年5月まで27年間交通指導員として長年地道に活動してこれ、その後、理事・副会長を歴任して今年会長に就任しましたが、長い間ボランティアを続けてこれたのは、言うまでもなく家族の理解と協力が

あってこそ成し得たことで、家族には感謝しているとのこと。

日頃は、早寝早起きに心がけ、散歩は健康のため毎日一時間くらい歩くのが日課になっています。また、夕食前の晩酌が何よりの楽しみで、たまに来る孫の成長を眺めながらいただく晩酌は格別だと語っています。

車の運転が好きで、時々ドライブに出かけ、自然を満喫するのが唯一の趣味ですが、最近良く耳にする高齢者ドライバーの悲惨な交通事故が後を絶たず、我が身に置き換えると、とても他人事とは思えず、今以上に気持ちを引き締めて運転をしなければと語っておりました。

当協会の規模はそれ程大きくはありませんが、会長をはじめ役員が一丸となり「春・夏・秋・年末」のキャンペーンや自転車事故対策等の様々な活動には、皆が非常に熱心で協力的な体制なのは、設立当時から今年の5月まで会長をしてこられた前会長の功績による礎であり、これをしっかりと受け継ぎ、今後も、警察署の指導を受けながら、各交通関係団体と連携し、悲惨な交通事故を一件でもなくし、住みよい社会を目指し頑張っていきたいと抱負を語っていただきました。

また、警察署から交通安全協会が遠いとのことをお叱りを受けることも多く問題を抱えながら10年が過ぎましたが、会長には相模原北地区の交通安全の推進のため一層のご尽力とご活躍を期待したいと思っております。

取材協力:相模原北交通安全協会

こんにちは
「戸塚交通安全協会」です

当協会は、昭和23年4月に自動車組合として発足し、創設69年目を迎え現在に至っております。当協会は、職員2名・パート職員4名で、パート職員は2名ずつ1日おきの勤務体制をとっております。

昨年の戸塚区内の交通死亡事故は1件で、発生件数、負傷者数も減少傾向にあり、一定の成果を上げる事が出来ました。

特に高齢者、自転車、二輪車等の関係する事故は相変わらず発生しており、子どもの交通事故を1件でも少なくするため、小学校の入学式が終わった4月から7月まで「はまっ子交通安全教室」(区内27校全校)を行い、当協会の交通指導員が中心となり実施しています。また、学校の関係者でPTA、学校支援隊、交通安全母の会が積極的に指導協力してくれています。

ここで、交通安全にご利益がある「横浜市地域有形民俗文化財」の「南谷戸大わらじ」の由来について紹介したいと思います。「南谷戸の大わらじ」は、鎌倉時代、村の安泰と旅人の安全を祈願し、木に普通のわらじを吊るしたところ、旅の僧が古くなった自分のわらじと交換していくようになり、「お坊さんに履いて頂けるならありがたい」と以後、盛んになったとのことです。大正初期、地元の青年団が鎌倉の寺にある大わらじに倣って、大きなわらじを吊るしたのが「南谷戸の大わらじ」のはじまりのこと。重さは、片足約100kgあり、上を見上げ思わず「オーッ」と声を上げてしまう程の大迫力です。戸塚にお越しの際には、是非お立ち寄りになり、「家内安全・交通安全」などを祈願してみても如何でしょうか。

交通事故は、人が起こす人災であり、人災ならば防げることができます。



交通安全は『家庭・学校・地域・職場』からの合言葉に、これからも究極の目標である、区内の交通死亡事故ゼロを目指し、新会長以下役員・職員一同が各種交通安全活動に取り組んでいきたいと思っております。

(鳥谷部 記)

地区交通安全協会の活動紹介



旭 梶谷公園での交通安全キャンペーン



加賀町 横浜中華街での交通安全キャンペーン



横浜水上 横浜港での交通安全キャンペーン



川崎臨港 川崎大師での自転車安全教室



保土ヶ谷 保土ヶ谷区民祭りでの交通安全キャンペーン



山手 横浜公園での交通安全キャンペーン



藤沢北 秋葉台公園での交通安全フェスタ



鶴見 市立潮田小学校での自転車安全教室



都筑 市立折本小学校での交通安全教室



多摩 県立菅高校での交通安全教室

交通安全街頭活動

インフォメーション

- 第58回交通安全全国国民運動中央大会 ————— 1月18日(木)グランドヒル市ヶ谷
1月19日(金)文京シビックホール
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会賀詞交歓会 ————— 1月25日(木)ロイヤルホールヨコハマ